

ながい 市議会だより



第39回縄文まつり



もとまち青空フェスティバル2023



第70回平野地区民ふれあい運動会

もくじ

9月定例会の概要、令和4年度決算	2
一般質問	4
決算特別委員会総括質疑	10
人事・12月定例会日程	12



9月 定例会

令和4年度 決算を認定

一般会計と特別会計を合わせた総計決算額は、歳入28億8,909万円、歳出27億3,158万4千円で、差引残額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、10億2,533万円の黒字となっています。

一般会計の歳入総額は、21億9,128万4千円で前年度対比15億4,067万円（7・6%）増加、歳出総額は21億7,201万円で前年度対比16億7,522万円（8・2%）増加となり、差引残額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、5億9,291万円となり、前年度実質収支額6億1,515万円を差し引いた単年度収支額は22億2,400万円の赤字となっていますが、特別会計の単年度収支額は7億7,200万円の黒字となるため、一般会計と特別会計を合わせた単年度収支額は5億4,960万円の黒字となっています。

主な建設工事

※事業費は令和4年度分、1万円未満切り捨て



学びと遊びの交流施設「くるんと」整備事業 24億4,924万円



中学校施設環境改善事業（南北中学校トイレ改修など）5億1,549万円



公立置賜長井病院改築整備事業 2億1,416万円



旧第二庁舎解体工事等（関係事業）7,030万円

令和5年9月定例会は8月23日から9月19日までの28日間の日程で開催し、一般会計及び特別会計、企業会計の認定ほか、最終日提案を含む報告3件、一般議案10件、補正予算7件、人事案7件について審議を行い、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問には12名の議員、決算総括質疑には6名の委員が、当局の考えをたしました。

なお、決算特別委員会委員長には竹田陽一委員、副委員長には平井直之委員が選任されました。

～～～～～ このように使われた市のお金 ～～～～～

令和4年度は、平成26年度から10年間のまちづくりの指針となる長井市第五次総合計画が策定されて9年目で、前期後期5年毎に分けられた後期基本計画の4年目の年でした。「みんなで創る しあわせに暮らせるまち 長井」の実現に向けさまざまな公共施設の整備を進めてきましたが、新公立置賜長井病院が1月にグランドオープンし、屋内遊戯場と多機能型図書館を併設した遊びと学びの交流施設「くるんと」の整備事業、南北中学校のトイレを洋式化するための改修事業、旧第二庁舎解体工事に関する事業などを進めてきた1年でした。また、新型コロナ臨時交付金によるデジタル地域通貨「ながいコイン」事業、新型コロナウイルス感染症に対応した子育て世帯等臨時特別支援事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業など、新型コロナウイルス感染症に係わる事業を行いました。

令和4年度末の一般会計分の市債（借入金）と特別会計基金を含む基金（積立金）

※人口は、令和5年3月末人口：24,725人

項 目	金 額 (万円未満四捨五入)	備 考 (円未満四捨五入)
市債残高（借入金・市が借りたお金）	241 億 7,665 万円	市民一人あたり 97 万 7,822 円
基金残高（積立金・市が貯金したお金）※財政調整基金他	26 億 9,661 万円	市民一人あたり 10 万 9,064 円

討 論

採決の前に、議題となっている案件について賛成か反対かを表明すること。

賛 成

鈴木 悟司 議員

一般会計と特別会計を合わせた決算額並びに単年度収支額は黒字となっている。一般会計の歳入では、自主財源の構成比率が36.8パーセントと前年度より高くなり、公共複合施設整備事業や中学校大規模改修事業などにより増額となっている。

中心市街地の活性化を図ることを目的とする公共施設整備が進み、今後は交流人口や移住・定住人口の増加を目指して、当局においてはこれまで以上に創意と工夫を凝らして、健全財政の堅持に取り組まれることを願い賛成する。

◆令和4年度 長井市歳入歳出決算認定

今泉 春江 議員

一般市税と国民健康保険税の収納率が、13市でトップとなり、差押え件数が137件で14件減少した。これらは積極的部分と捉えるが、地方自治体の役割は住民福祉の向上である。物価高騰で市民の暮らしは厳しくなっており、給食費無償化を求める。

宅地売買手数料に反対し、直売を求める。大型公共施設の建設により、投資的経費が増加し、将来負担比率が全国でも非常に高いと監査委員から報告されている。これらの大型公共施設が市民に貢献する施設となることが重要であることから、さらなる努力を求める。

反 対

令和5年9月定例会 議案等に対する賛否一覧表

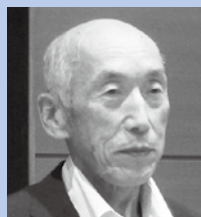
(下記以外については全会一致で可決されています)

議席番号 議員氏名 議案等名	議決 結果	賛 成	反 対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				平 井 直 之	鈴 木 英 則	勝 見 英 一 朗	鈴 木 裕	鈴 木 悟 司	鈴 木 一 則	渡 部 正 之	竹 田 陽 一	内 谷 邦 彦	渡 部 秀 樹	浅 野 敏 明	金 子 豊 美	平 進 介	梅 津 善 之	今 泉 春 江	鈴 木 富 美 子
認第1号 令和4年度 歳入歳出決算認定について	認定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※ 賛否が分かれたものについて掲載しています。

○は賛成、●は反対、議長（鈴木富美子）は採決に加わらない。

★令和5年9月定例会に提出されたすべての議案等の議決結果は市議会のホームページに掲載しています。



勝見英一朗

※
チャットGPTの利用と
制限は

弁
他自治体等の取組を
参考に慎重に検討

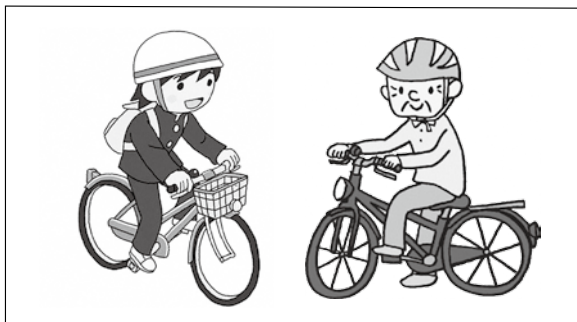
Q. コンピュータに指示文を入力すると、まるで人間が答えたように回答してくれるチャットGPTの利用が急拡大しています。一般利用だけでなく多くの自治体でも、業務能力向上のためにチャットGPTなどの生成AIの利用を検討し始めました。特に、生成AIを利用する際の個人情報保護や著作権保護には十分な配慮が必要なことから、ガイドライン作成を進めています。本市において、業務への生成AIの利用と制限をどう

のように考えていますか。

A. 県内でも本格的に導入活用に向け準備を進めている市もありますが、生成AIの有効性はさらなる検証が必要であり、著作権保護についても課題があります。本市独自の検証では限界があるため、他自治体の取組状況などを踏まえ検討すべきと考えています。

Q. チャットGPTは今後生徒や教職員に拡大することは確実です。これを使えば、作文や解答はコンピュータがやってくれることになります。これでは子どもの考える力を損ないます。また、個人情報の漏えいも心配されます。早急な対応が必要ではないですか。

A. 生成AIは個人情報保護の観点で課題が多いため、授業への利用等に向けて慎重な検討が必要です。一方で、デジタル化を子どもたちの能力を伸ばす方向に活用する視点も不可欠です。学校における学びの基本に立ち返り、生成AIの有効性や課題を整理し、対応方針を示していきます。



令和5年4月からヘルメット着用が「努力義務」



生成AIにより描かれたイラスト



平進介

市民の命を守る各種
対策の推進を

弁
安心安全なまちづくりに
向け各種対策に取り組む

Q. 市内61か所に設置している「防災ラジオ屋外拡声装置」のうち、成田下宿と河井地区の2か所に不具合があり、一部作動しない状況にあるとのことですが、市民の命を守る大切な役割を果たす装置です。完全な作動に向けどのように改善していきますか。

A. 不具合により情報が伝達できなかったのは大変重要な問題ですが、本市では二重の対策として防災ラジオを活用しています。今後は、完全作動に向けて装置を検査し、精度が

上がる取組も考えていきます。

Q. 「命のバトン」の配付は、65歳以上の方だけの世帯を基本としています。65歳未満の方と同居する世帯も配付対象とし、市民の命を守る行政を推進してはいかがでしょうか。

A. 平成25年度から対象者を拡大し、日中家族が不在になる75歳以上の方等にも配付しています。必要とする方が今以上に利用しやすくなるよう、対象者や周知方法について検討してまいります。

Q. 道路交通法の改正で、本年4月からすべての自転車利用者に対し、ヘルメット着用が「努力義務」となりました。自転車による死亡事故の約7割が頭部に致命傷を負っているデータがあります。着用推進を図るための条例制定や、ヘルメット購入助成についてどのように考えていますか。

A. 自転車の安全で適正な利用に係る条例については、今年度中の制定を目指します。また、課題はありますが、ヘルメットの共同購入について現在検討しているところです。

※チャットGPT：人工知能（AI）を使った対話サービス

※生成AI：あらかじめ学習したデータをもとに、画像・文章・音楽・デザインなどを新たに作成する人工知能（AI）の総称

Q. 先ごろ、国道113号のバイパス路線として整備中の新潟山形南部連絡道路の未整備区間のうち、小国―飯豊間が、ルート概要等を決定する調査計画段階評価に入りました。東日本大震災時に重要なルートの役割を果たしたことや、近年、災害や事故により通行止めが多発していることも要因になったと考えます。事業完了に弾みがついたのではないですか。

A. 国道113号とのダブルネットワーク構築に向けて一

弁 答
高規格道路ネットワーク
形成に向けた整備を推進

**新潟山形南部連絡道路
未整備区間の進捗は**



鈴木 一則

歩前進したと考えており、本市においては、長井南産業団地の整備による新たな雇用や観光地域づくりによる賑わいを推進していくため、国道348号の高規格化など、高規格道路ネットワーク形成に向け国・県に要望していきます。

Q. 今年の夏は地球温暖化の影響により猛暑日が続き、米沢市では熱中症によると思われる中学生の悲しい事故もありました。中学生は校外施設での活動もあり、熱中症予防の対策が必要です。コミセンなど公共施設は市民の活動場所であり、また、災害時の避難所でもあることから、暑さ指数計測器の設置と未設置室へのエアコンの設置を求めます。

A. 暑さ指数計測器で熱中症リスクを見える化することは、利用者の健康と安全を確保する有効な熱中症予防対策です。ので、早速各コミセンに配置しました。エアコン設置についても状況を確認し対応しますが、多目的ホール等の大規模工事が必要な場合は次期公共施設等整備計画で検討します。



簡易トイレ（イメージ）



新潟山形南部連絡道路（飯豊側）

弁 答
簡易トイレの備蓄や連携
協定等で備えていく

**災害発生時の避難所
でのトイレの対応は**



内谷 邦彦

Q. 本市の避難所には水洗トイレが整備されていますが、非常時に使えなくなった時の対応、また、感染症対策としてトイレを衛生的に保つための対応を伺います。

災害発生時のトイレに関する統計では、災害発生から3時間以内にトイレに行きたくなった人の割合は38.5%で、6時間以内までを含めると73%にもなります。避難所開設後、時間の経過に応じた対応が必要となりますが、本市ではその準備はできてい

ますか。

A. トイレの確保は重要な問題です。本市の水道は地下水ですので、水は給水車で確保できると考えます。簡易トイレは、指定避難所に8千回分を確保し、仮設トイレについては、業者と連携協定を締結しています。また、感染症対策として手指のアルコール消毒が必要と考えています。

Q. 避難所のトイレで、体が不自由な方への対応はどのように考えていますか。また、本市の企業が扱っている仮設トイレはどのような仕様なのかなど、事前に調査を行うことも必要と考えますがいかがですか。

A. 既存の多目的トイレは問題ないと考えますが、仮設トイレの場合は、汚水槽設置のため段差が生じることから、スロープの設置や皆様の協力が必要です。また、本市で仮設トイレを使用するのは主に建設会社だと思いますが、国の標準仕様として、洋式便座、水洗機能等が定められています。



渡部 正之

住まい・建築物の脱炭素化
に向けた対応強化を

併 国・県と連携し、住宅
施策の強化に取り組む

「省エネ・カーボンニュートラル」など、気密性や断熱性を高めるリフォーム工事にも補助を行っており、国・県と連携して住宅施策の強化を進めます。空き家は、啓発活動により適正に管理いただいていると認識しており、引き続き周知、啓発に努めてまいります。

Q: 人手不足の深刻化や、高齢化などの課題があるにも関わらず、来年の4月から時間外労働の上限規制が開始されることは、地元工務店等に大きな影響があるものと感じています。

A: 市内住宅関連事業者について、現状をどのように捉えているのか伺います。

A: 市内工務店等が懸念する建築費増加に伴う住宅需要の減少と、構造・省エネ適合計算ができる業者が県内にはない状況にあり、これに対応するためには、国の支援制度を紹介しながら、今後の事業継続について注視する必要があると考えます。



市に寄附されたティーエヌアイ工業株式会社跡地



2025年からの省エネ住宅義務化



竹田 陽一

市所有建物等の有効活用
で地域活性化を

併 要望をお聞きしながら
産業の振興に活用

きしながら、屋内運動場や産業の振興に活用させていただきたいと考えています。

Q: 介護サービスは、認定調査終了後に受けることになりましたが、急を要する利用申し出があった場合は、どのように対応していますか。

A: 末期がん等で迅速な対応が必要とされるなど、介護サービス利用に急を要する場合は、申請を受理した後、当日のうちに認定調査と一時判定を実施し、暫定サービスが利用できるように対応しています。

Q: 子どもたちが望ましい食習慣を身につけるため、学校での食育の推進が大切です。食べ物に対する関心を高める農業体験活動の充実、そして、食文化や地域産物の理解を深める郷土料理を献立に積極的に取り入れてはどうですか。

A: 今後も、児童・生徒に必要な栄養摂取量を考慮しながら季節ごとの地元食材を取り入れ、かつ、生産者の協力のもと「芋煮」や「鯉の旨煮」などの郷土料理を学校給食で提供してまいります。

Q: 将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」や「目標地図」を作成するうえで、「地域内の農業を担う者」として期待が高まっています。今後の支援について伺います。

A: 認定農業者は地域営農において重要な役割を担っており、研修会や講演会、各種補助事業等の国や県からの情報を迅速に提供してまいります。

Q: 気候変動や線状降水帯発生時の対応について、動けなくなる前に早めの避難指示や避難所の開設が必要ではない

担い手農業者に対する支援を

答 弁
国や県からの情報を迅速に提供する



鈴木 悟司

Q: 山形工科短期大学が地域拠点に移転を計画しています。現在、自然豊かな山間部にありますが、立地環境が厳しく、最近の気候変動もあり、大雨や大雪になれば孤立してしまう環境になっていきます。市としてどのような支援を考えているのか伺います。

A: 昨年、市にご寄附いただいた工場跡地へ学校を移転させ、本来の経営・運営ができるよう、学生募集等に協力していきます。

ですか。

A: 昨年8月の豪雨の際は、早めに避難情報を出したことで人的被害がなく済みました。今年度は避難所職員の増員や開設訓練を行い備えています。

Q: 河川愛護活動において、高齢化する社会状況の変化に対して、機械化作業で省力化できるような検討すべきではないですか。

A: 参加者の安全確保を第一に考え、無理のない範囲での協力をお願いするとともに、機械化などによる効率化を図ってまいります。



就労支援（イメージ）



山形県認定農業者協議会 通常総会

Q: 障がいを持つている方や、障がいを抱えておられる方が安心して暮らしている社会づくりが必要と考えます。令和5年度施政方針の中のインクルーシブについて、具体的にどのような進めていく考えなのか伺います。

A: 安心できる環境整備や適切な支援に努めるとともに、演奏会やイベントにおける取組を工夫し、多様性を認め合い、市民が幸せを感じられるウェルビーイングの実現につなげたいと考えます。

インクルーシブ社会実現に向けた取組は

答 弁
ウェルビーイングの実現に向けた取組を推進



平井 直之

Q: 障がい者が自立して生涯安心して生活ができるようになるには、就労への支援が重要と考えます。第六次総合計画では、インクルーシブ社会についてどのように考えているのか伺います。

A: 就労支援は、前期基本計画に位置づけ取り組んでいきたいと思いますが、関係機関との連携や市民一人ひとりが相手を理解する気持ちを持つことも重要であると考えます。

Q: 新たなインクルーシブ社会をつくっていくには、小さい時からの教育も重要と考えます。児童・生徒の交流は不可欠であると思いますが、このインクルーシブ教育についてどのように進めていく考えなのか伺います。

A: 市内小中学校と米沢養護学校長井校、西置賜校との交流活動や、医療的ケア児の支援、また、音楽を通じた交流活動など、共生社会の実現に向けて関係部局とともに推進し、本市の子どもたちを育てていきます。



今泉 春江

米坂線の復旧について

弁 早期復旧に向け
答 取り組む

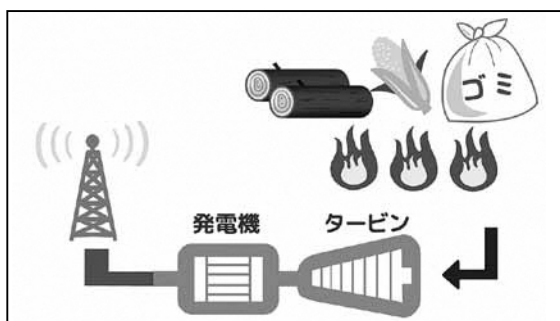
Q. 米坂線は昨年8月の豪雨で112か所が被災しました。JR東日本は、復旧には5年、工事費は、新潟県内が31億円、山形県内が55億円、合計86億円と算出しています。そのうち、約6億円は小白川橋梁の撤去などにすでに使われています。鉄道は、通学や通院など、豪雪地域にとっては大切な公共交通機関です。現在、代行バスが運行されていますが、バスは鉄道よりも時間がかかり、定員オーバーで高校生が乗れない時もあるということ

です。国は、経営が厳しい路線は再構築協議会を設置できるとしました。米坂線の早期復旧に向け、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

A. 米坂線は、米沢市と村上市を結ぶ重要な幹線です。民間レベルでも、署名や賑わい創出を見据え、復旧に向けた機運があります。8月31日に、米坂線整備促進期成同盟会の総会が予定されており、本市も入る沿線市町村が一同に会することから、今後の復旧に向けた取組の方向性が定まってくると思います。吉村知事も、自治体が一部を負担する枠組みもあると話されており、本市としても、早期復旧に向け取り組んでまいります。

Q. 経済の悪化により教育にかかる保護者の負担が増えています。給食費無償化は市民の強い味方です。前向きな取組を求めます。

A. 学校給食費の保護者負担のあり方については、国の動向や各自自治体の考え、地域の実情等を踏まえて取り組んでまいります。



バイオガス発電（イメージ）



米坂線の現状（時庭地内）



浅野 敏明

バイオガス発電設備事業の推進について

弁 事業推進のために導入
答 可能性調査を実施

Q. バイオガス発電の原材料に、家庭系生ごみと事業系食品残渣に加えて、家畜牛の排泄物を活用し、原材料を安定的に受け入れることで、FITによる売電収入が得られ、20年間に渡って建設費や維持管理費に充当できる収入を得られるのではないですか。

A. 今年度、バイオガス発電設備の導入可能性調査を実施します。家畜排泄物については、農業者へのアンケートを実施し、可能性の調査を行います。

Q. プラ製のごみ袋に入れた

生ごみを収集し、破碎機分離器でプラを取り除くシステムに代え、生ごみ収集を市内全域に拡大してはどうですか。

A. 破碎機分離器でプラを取り除くシステムは最先端の技術のため、課題も含め情報収集を行い、費用対効果を勘案しながら検討します。

Q. ハザードマップ浸水深の前提条件と、安全な避難ルートを示すとともに、各自が災害への危険度を認識する情報として、市内小河川20か所の水位情報をスマホなどにライブ配信してはどうですか。

A. 防災マップは、最上川など3河川の浸水深であり、避難ルートを示すことは難しく、マイタイムラインでの危険箇所想定が現実的と考えます。

Q. 内水被害の拡大防止や浸水を早期排除するため、排水ポンプ車等の購入を目指すべきではないですか。

A. 排水ポンプ車は、国で何台か用意していますが、雨が収まってからでないと操作できないため、本市においては何がいいのか検討します。

Q. 中央地区の市街地南部は、長井警察署や定住促進住宅ながいみなみをはじめ、多くの住宅や大型商業施設が建設され、今も宅地造成、住宅建設が進んでいます。住居表示の未整備区画が多く、住所がわかりにくく不便を来しています。館町南地区の住居表示未実施区域は「小出」という地番になっており、世帯数増加により全部で100世帯、住民は300人程度と推測されます。そのため、早急に住居表示整備事業を推進すべき

弁 答 住宅表示整備は宅地造成と合わせて実施

住居表示未整備区域を早急に整備すべき



鈴木 裕

と考えますがいかがですか。

A. 館町南地区を中心とした中央地区南部にはまだ多くの農地があり、人口減少対策として、民間にご協力いただくことも想定しながら大規模な宅地造成をしたいと思っています。ご不便をおかけしますが、住居表示整備については、宅地造成と合わせて実施したいと考えています。

Q. 以前の定例会で、「選挙日の投票締め切り時刻を一時間早められないか」と提言し、「前向きに検討する」との答弁がありました。市民の意向を酌むためどのような方策を講じているのか、どの選挙から実施しようとしているのか伺います。

A. 投票する権利の制限にながりがねないため、有権者千名を対象にしたアンケートを実施し、回答を待っているところです。集計後方針を決定したいと考えています。また、仮定になりますが、実施には十分な周知期間を設けるため、令和7年の山形県知事選がめどになると考えています。



子ども食堂（イメージ）



館町地区新興住宅地

Q. 「子ども食堂」を通して多くの市民が関わり合い、地域皆で支えていく仕組みづくりが大切だと考えます。子どもたちにとっては、多世代の方々と関わることで価値観が変わり、人生の選択肢が広がり生活力が高まると思います。現在、市内で実施している「子ども食堂」を把握していますか。また、「子ども食堂」を実施している団体の課題は把握していますか。さらに、それぞれの団体の課題を把握するための協議会の設立や、

弁 答 社会福祉協議会と連携し支援を行う

「子ども食堂」への支援は



梅津 善之

資金面での支援など、市としてできることがあると思いますがいかがですか。

A. 市内では複数の団体が月1回程度活動し、親子の交流のほか、学習支援などを行っている「子ども食堂」もあります。また、社会福祉協議会でボランティア団体の情報交換を検討しており、市では連携し相談や活動の周知を図ります。なお、支援としてコミセン使用料の免除を行っていきます。

Q. 新庁舎になり働きやすい環境が整備されたと思いますが、全ての職員が働きやすい職場環境と人材育成が必要と考えます。

現在の休暇・休職中の職員の状況を伺います。

A. 職員の勤務時間、休暇等に関する条例に規定されている特別休暇の中で、病気休暇を取得している職員は現在4名です。最近の状況から、心身の健康管理が最も重要だと考えます。そのため、管理監督者に対するカウンセリング・マインドスキル習得機会の充実が必要と考えます。

決算

特別委員会

総括質疑

平和への決意、戦没者追悼式の今後の取組は

金子豊美委員 平和への決意を新たにするため、戦没者追悼式を開催していますが、平和都市宣言を行っている市として、今後どう取り組むのか伺います。

市長 戦没者追悼式では、北中学校の生徒代表から作文の朗読をしていただいております。若い世代にも平和について考えていただく貴重な機会となっています。未来を担う若い人たちが戦争や原爆による悲劇を自分のこととして捉え、平和な世界を築くために自分たちができることは何かを真剣に考えることは極めて大切で、戦争のない平和な世界への願いも込め、今後も戦没者追悼式を開催していきます。

委員 戦没者追悼式に、生徒

も含め若い人たちが参加できる場所等を提供することも必要ではないですか。

市長 一般の方が参加するのは自由ですが、児童・生徒には呼びかけをしていませんでしたので、共催している遺族会や教育委員会とも相談しながら検討していきます。

情報教育推進員の増員でICT化への効果は

鈴木英則委員 学校の情報教育推進員事業について、情報教育推進員を2名に増員したことによる効果を伺います。

学校教育課長 教員と子どもたちへのサポートがよりきめ細やかになったこと、不具合発生時には、その場で情報教育推進員が対応できるようになり、早期対応が可能となりました。

委員 端末や回線などの保守を民間業者に委託していますが、その効果をお聞きます。
学校教育課長 ICT環境が高度化し、現場の環境が複雑になる中で、日々さまざまな

不具合やトラブルに対し、学びを止めることなく速やかに対応できています。

委員 成果報告書の「情報化教育の進展に長井市の子どもたちが遅れないようにするには」について考えを伺います。

市長 本市の子どもたちがICT化に置いてけぼりにならない、不利益を被らないようにすることが重要なことだと思っています。

給食共同調理場の維持管理・運営について

内容邦彦委員 食育、教育の一環として、自分たちが食べる給食が、どのような設備でどんな人たちが作っているのかを見ることが重要だと思いますが、児童・生徒の調理場見学は行っているのですか。

給食共同調理場長 調理場見学の実績はありませんが、実際の調理の様子をDVDで見たいだったり、「調理場だより」で情報を提供しています。
委員 実際に作っているところを自分の目で見て感じるこ

とが重要と思いますが、見学することはできないのですか。

給食共同調理場長 調理場の見学については、今後、学校教育課と調整していきます。

委員 給食の味について、アンケートをとるなど、子どもたちの嗜好はどうか確認していますか。

給食共同調理場長 年一回、「まるごと長井給食」に合わせ実施しています。

委員 子どもたちの嗜好を十分に確認し、おいしい給食を提供していただきたいと思っています。

市税、国税収納の取組について

今泉春江委員 コロナ関連の納税相談はありましたか。差押え件数が、前年度から14件、約411万円減少しました。差押えには国税徴収法がありますが、対応はいかがですか。児童手当の差押えはどうですか。資格証明書は、相談もできるように窓口交付にしてはどうですか。

税務課長 コロナ関連の相談は減少しており、令和4年度の減免措置は、合計で108万6200円ありました。差押えは、コンビニ納付、スマホ

収納など、納付環境の拡大や訪問などで納税相談の機会を増やし、ていねいな相談に努めてきたことにより、市民の理解が進み、差押えが減少しています。差押えは国税徴収法の規定により、禁止金額を差し引いて頂いていきます。児童手当は、児童手当法により差押え禁止財産とされ、現在は行っておりません。

市民課長 納税相談が必要なのは、次回から相談を行っていきます。

PFI方式の給食共同調理場の運営に課題はないか

鈴木 裕委員 調理場でのインシデントの事案について教えてください。また、どのような対応をされたのか伺います。
給食共同調理場長 従事者の確認不足により、食器具の過

浅野敏明委員 令和4年度の

生活排水処理施設の普及促進を

不足があった事案、また、洗浄したお椀にご飯粒のかけらが残っていた事案があります。教育委員会に事故報告し、改善策と対応についても速やかに報告しています。

委員 コロナ禍による急な休校や休園で、仕入れた食材の廃棄や仕入れのキャンセルはなかったですか。

給食共同調理場長 食数の変更ができなかった時は、一人当たりの配分量を増やしたり、保存が可能な食材は後日使用するなどの対応により、残渣の発生はありません。

委員 設備の更新や修繕費負担は、市と事業者でどのようなになっていますか。

給食共同調理場長 運営する事業者との契約で、施設設備の保守管理および設備等の修繕・更新は事業者が対応することとしており、これまで市が負担した事案はありません。

本市の生活排水処理施設の普及率は、県内13市中11番目です。水洗化率向上に向けた今後の取組を伺います。

市長 多額の一般会計からの繰入れによって公共下水道の企業会計が成り立っており、水洗化率向上は欠かせないものです。もう一度アンケートを実施するなど、水洗化率を上げる取組を強化します。

委員 空き家456戸は敷地と一体的な管理が必要です。所有者が適切な管理を行う必要があると思いますが、どのように対応していますか。

建設参事 空き家の所有者には適切な対応を促す文書を発送しており、今後も敷地の管理も含め周知を徹底します。

委員 雑草の繁茂など、管理不全土地が存在することから、空き地対策の推進に関する条例の制定を目指すべきではないですか。

市長 まずは、所有者に対して適切な管理を促すよう呼びかけ、条例化は実態を把握したうえで検討します。

「市民と市議会との意見交換会」を開催します

長井市議会では市民参加と情報公開を積極的に行うことを目的に、「市民と議会との意見交換会」を実施しています。

市民の皆さんのご意見やご提言を直接お伺いして、議会審議や議会運営に生かしていきたいと考えています。

今回は、以下の日程・会場で意見交換会を開催しますので、多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

◇内容

1. 議会報告

市議会の現状（委員会、会派）、コンパクトシティとコミュニティセンターの役割、本市の財政、子育て支援、フラワー長井線の現状と今後の課題などについて意見交換地区の課題等

日 時	会 場	対象地区	担当班	時 間
11月8日(水)	豊田コミュニティセンター	豊 田 地 区	3 班	午後7時から 8時30分まで
11月9日(木)	伊佐沢コミュニティセンター	伊 佐 沢 地 区	1 班	
11月14日(火)	平野コミュニティセンター	平 野 地 区	3 班	
11月15日(水)	致芳コミュニティセンター	致 芳 地 区	2 班	
11月17日(金)	西根コミュニティセンター	西 根 地 区	2 班	
11月20日(月)	中央コミュニティセンター	中 央 地 区	1 班	

※対象地区以外の会場でも参加できます。申込不要で、都合の良い日にお出でください。

なお、下記のとおり3班体制で実施しますので、各地区の地元議員がお伺いするとは限りません。

1 班 ◎今泉 春江
平 進介
竹田 陽一
鈴木 一則
平井 直之

2 班 ◎梅津 善之
金子 豊美
内谷 邦彦
鈴木 裕
鈴木 英則

3 班 ◎勝見英一朗
浅野 敏明
渡部 秀樹
渡部 正之
鈴木 悟司

※◎は班代表者、議長（鈴木富美子）は全ての班を統括する。

人 事

教育委員会委員の
任命に同意

長沼真知子 さん
(十日町) 新任

市政功労者の表彰に
同意

蒲生 光男 さん
(平山)

加藤 弘二 さん
(清水町)

井上 良次 さん
(日の出町)

人権擁護委員の推薦
に同意

渋谷 肇 さん
(上伊佐沢)

寒河江新一 さん
(歌丸)

小関 弾 さん
(九野本) 新任

次回 12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11月	13	14	15	16	17	18
12		全員協議会	総務	文教	厚生	
			常任委員会協議会			
19	20	21	22	23	24	25
		産業・建設	常任委員長会		招集告示	
		常任委員会協議会				
26	27	28	29	30	12月 1	2
			議会運営委員会		本会議(開会)	
3	4	5	6	7	8	9
			本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	
10	11	12	13	14	15	16
	総務	文教	厚生	産業・建設	予算	
	常任委員会				特別委員会	
17	18	19	20	21	22	23
	予算			本会議(表決・閉会)		
	特別委員会					

- ◎請願の提出期限は、11月8日(水)の予定です。
◎すべての会議を傍聴できます。正式な日程は、市議会のホームページなどでご確認ください。

長井市議会ホームページ

長井市議会

検索

厚生常任委員会市内視察

厚生常任委員会は9月6日、令和5年度予算に計上されている生涯学習プラザ施設管理事業について、施設の状況や今後の改修工事予定、課題等を把握するため現地視察を行いました。

○体育館棟

天井の雨漏り、結露によるしみや照明不点灯部分など現況を確認



○プール棟

プール湿気による内装への影響や設備機械の老朽化など現況を確認



編集後記

スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、収穫の秋、その他にも「〴〵の秋」と表現されることはよくあります。
秋はとても過ごしやすい気候です。で、物事に集中するのに最適な季節とも言われております。
散歩やサイクリングなどで心身のリフレッシュを図ってみたり、9月にグランドオープンした長井市遊びと学びの交流施設「くるんと」内の図書館で読書をするなど、のんびりとした時間を過ごされるのもいいかもしれません。
(M・W)

ながい市議会だより
編集特別委員会



◎渡部秀樹 ○渡部正之
平井直之 鈴木悟司
鈴木英則 竹田陽一
(◎委員長 ○副委員長)